

事業番号	10 05 08	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	広域河川改修費			担当課	部局	建設部
<参考> 総合5か年 計画	プロジェクト			課・室	河川課	
	施策の総合的展開	4-1	地域防災力の向上	E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp	
		4	災害に強い地域づくり		実施期間	S7 ~

1 事業の概要

目指す姿	<p>○県民の生命・財産を水害から守るため、水系、支川等を単位として、水系一貫した計画的な河川改修を実施する。</p> <p>○耐震対策、地盤沈下対策や市街地再開発事業等の他の事業と一体となった河川整備等を実施する。</p> <p>○河川の氾濫により浸水被害を受ける恐れのある区域の面積を減らすため、事業実施河川における改修の促進を図る。</p>
現状	治水安全度向上のため、引き続き計画的な河川改修が必要である。 計画に基づく河川改修率は、平成23年度末で73.9%（改修済延長 97.9km / 全体計画延長 132.4km）である。

県が関与する理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	【左記の説明、根拠法令等】 河川法
----------	--	----------------------

事業内容	① 成果目標(H24)				
	事業実施河川における河川改修率(改修済延長 / 全体計画延長)をH24年度末に75.0%とする。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H24事業実績		H25
			(当初)	(決算)	(当初)
広域河川改修事業	直接	奈良井川(松本市)ほか14箇所において、護岸工、橋梁工、用地買収等を実施した。		2,414,922	
		2,560,000	2,382,390		
	合計	2,560,000	2,382,390	2,414,922	

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越	908,505	1,411,065	875,141	1,061,944	項目	現況(見込)	H24			H25目標
		当初予算	2,100,000	2,508,653	2,560,000	2,414,922			目標	成果	達成状況	
		補正予算	236,216	-224,585	9,193		河川改修率	73.90%	75.00%	73.90%	未達成	76.00%
		合計(A)	3,244,721	3,695,133	3,444,334	3,476,866						
	Aの財源	国庫支出金	1,553,223	1,776,223	1,661,479	1,680,054						
		県債	1,488,000	1,660,000	1,668,000	1,622,000						
		その他()										
		一般財源	203,498	258,910	114,855	174,812						
	決算額(B)	1,833,656	2,819,991	2,382,390								
概算人件費	職員数(人)	16.81	26.87	22.36	26.90							
	概算人件費(C)	-	-	-	-							
	概算事業費(B(A)+C)	1,833,656	2,819,991	2,382,390	3,476,866							

目標に対する成果の状況	全ての対象箇所で行った事業を実施することができたが、補正予算を含めた工事は大規模なものになったため、河川工事が可能な渇水期に工事が完了せず、全件明許繰越となってしまった。補正の効果もあり、繰越工事が完了すれば、目標以上の整備率を達成できる見込みである。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・治水及び水辺環境整備に対する住民要望は強く、早期に治水効果を発現させるため、H25も効率的で重点的な予算配分により事業の進捗を図っていく。 ・H26以降も効率的・重点的な予算配分による事業を推進する一方で、環境、景観等の面で幅広く住民の意見を計画に生かし、住民参加を一層進めていきたい。